

## 高次脳機能障がい部会 報告書

|      |   |
|------|---|
| 会議名  | 第3回 高次脳機能障がい部会  |
| 開催日時 | 令和6年3月12日(火) 18時20分～20時40分  |
| 開催方法 | ハイブリット方式(板橋区役所教育支援センター研修室、オンライン Zoom 方式併用)  |
| 出席者数 | 36名(内7名オンライン参加)<br>(内訳) 部会長1名、副部会長1名<br>支援者: 板橋区立障がい者福祉センター4名、区内介護事業所3名、<br>区内訪問看護事業所2名、おとしより相談センター1名<br>社会福祉協議会1名、おむすび1名、虹の会1名、<br>いたばし高次脳機能障がい家族会1名、<br>竹川病院8名、豊島病院5名、健康長寿医療センター2名、<br>日本大学板橋病院 1名、高島平中央総合病院 1名、<br>木村整形外科1名<br>行 政: 障がい政策課2名 |

### 第1部 報告事項

|     |  |
|-----|--|
| 題 材 | 1 令和5年度第1回、第2回 高次脳機能障がい部会報告<br>2 同部会 アンケート結果報告   |
| 概 要 | 1 令和5年6月、令和6年1月に実施した高次脳機能障がい部会の報告<br>高次脳機能障がい部会長 會田 玉美 氏<br>2 同部会 アンケート結果報告<br>竹川病院 言語聴覚士 伊藤 千夏 氏<br>同部会開催後、参加者にアンケートを依頼し、集計した結果を報告。<br>どちらの部会も満足された意見が多かったが、高次脳機能障がいの理解啓発の<br>推進や、当事者やその家族でも理解できる工夫が必要との意見があった。 |

### 第2部 1 事例紹介

|     |   |
|-----|---|
| 概 要 | 「高次脳機能障がい事例 クモ膜下出血後生活の再建を目指す」<br>・事例説明<br>高次脳機能障がい部会長 會田 玉美 氏<br>・医学的見地から<br>豊島病院 リハビリテーション科 部長 中島 英樹 氏<br>・高次脳機能障害とADLの見地から<br>竹川病院 言語聴覚士 高橋 捷平 氏<br>・福祉リハの見地から<br>板橋区立障がい者福祉センター相談支援専門員 山口 圭一 氏<br>・家族会、当事者から<br>中途障害をもつ人のデイサービスをつくろう会代表 本山 千恵子 氏 |
|-----|---|

## 第2部 2 グループ検討

|       |   |
|-------|---|
| 題 材   | 事例についての検討<br>各グループより発表<br>総評  |
| グループ数 | 5グループ(対面 4グループ、Zoom 参加者 1グループ)  |
| 概 要   | 5~6名の参加者とグループファシリテーター<br>参加者を 支援機関職員、医療機関職員、行政職員等を各班に分け、それぞれの立場から当事者や家族への具体的な支援の方法など、意見を出し合った。  |
| 主な意見  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例紹介後に様々な見地から、資料を基に高次脳機能障がいの整理をしながら、事例に当てはめて考えられた。また、様々な立場から補足して下さり、分かりやすかった。</li> <li>・グループワークでは、多職種・各職種の視点や専門的な意見を聞くことができ、大変参考になった</li> <li>・当事者の具体的な生活・困りごとを知ることができて良かった。</li> </ul> |